

「平和の少女像 ふーちゃんのねがい」

2003.11.14 修学院第二小学校

6年は組・初演

作・渡辺俊三

案・6はのみなさん

一幕五場

あらすじ

一学期はじめの金曜日の放課後。夜には、学年のお泊まり会のある日。星の観察会やきもだめし会、お風呂屋さんめぐりなど楽しい企画が待っています。

六年生のみんなは、放課後のクラブや児童会の仕事などに分かれていきます。友だちどうしで、いろんな夢や希望をしゃべりながらそれぞれの場所へいくところです。運動場のかたすみには、日頃みんなから忘れ去られたかのように「平和の少女像」がたっています。

そんななか、一人だけぽつんと、かざくるまで遊んでいる子がいます。と、突然その像がその子に話しかけるのでした。

夜の星の観察会が終わり、いよいよきもだめし会です。最後のグループが不思議な経験をします。あの少女像「ふーちゃん」が現れて、子どもたちを戦場に連れて行くのです。子どもたちがそこで見たものは、たくさんクラスのクラスメートが爆弾の犠牲になっている場面でした。そのなかにあの「かざくるま」の少年もいました。必死に助けを求める少年。その手にはいつもあの「かざくるま」が。こどもたちがそのかざくるまを手にしたとき、場面はもとにもどっていました。「ふーちゃん」の姿もなくなっていました。

「かざくるま」の少年を真ん中に、みんなが風車を持ってあつまっています。一人の少女が「平和の少女像」・ふーちゃんの願いを代弁するかのよう語り始めます。平和の尊さ、友だちの大切さを。

幕開き・けんひとり

サッカー少年

バレーボール

バスケット

野球少年

茶道グループ



陸上グループ

塾組

習字少女

受験少女とけん太鼓グループ

少女像が語る



お泊まり会

火星

きもだめし会

戦場

息絶える少年たち

かざくるまが回る



キャスト

平和の少女像 …… 岡木（主人公、物静かに語る）
（ふーちゃん）
かざぐるま少年 …… 田勝けん（主人公、風車を作るのが得意。一人遊びがすき。）
（けんちゃん）
サッカー少年 …… 杉山りょう（いじわるっぽいが、やさしい。戦場の場面で、かざぐるまを受けとる。）
橋詰けん（正義感がある、リフティング名人）
バレーボール少女 …… 小鳥あい（お茶や楽器もやっている生き生き少女）
土山メロン（ダンスもできるスポーツ少女）
山上リカ（物語を考えたりするのも得意）
植山 金（金ちゃんと呼ばれて、したわれている。ものをなおすのが得意）
宮下 銀（銀ちゃんと呼ばれている。野球が魚釣り）
陸上グループ …… 貝部よう（平泳ぎのスペシャリストだが、今は陸上にかけている。）
酒木げんき（スポーツ万能。野球もやっているが、陸上もがんばっている。）
阪戸かず（なんでもよくきがつく。野球もやっている。）
たいこ少年 …… 国崎くに（むくちだが、たいことなるとハッスルし出す。）
前川とも（ばちを持つと、きりりとしまる）
バスケットグループ …… 桧山かき（バスケットもやっているが、たいこも得意）
阪屋ひょう（ヒョウのようにすばやく動ける）
呉竹レモン（やさしい。最後に平和の訴えをする。）
空手少年 …… 西子かな（やさしすぎてすぐ涙ぐむが、怖いのも好きで、おばけ役もする。茶道も）
日比谷ケン（おとなしく、口数少ないが、勉強にも力を入れている。）
平山シヨウ（何でもパーフェクトをめざすので、ヒラパーとよばれている。）

茶道グループ …… 小鳥あい（バレーボールもやっている）
西子かな（バスケットにも入っている）
塾グループ …… 深井北子（深井先生と二役）
大音さくら（有名国立大をめざしてがんばっている。）
合川みい（付属中をめざしてがんばっている。スイミングも一流。）
和中さお（英語や習字の教室に行っている。習字は一番。）
テニス …… 谷田なな（だっちゃんとはばれている。家族でテニスをするのが趣味。）
深井先生 …… 深井北子（科学センターの先生。ほしくわしい。）
小橋先生 …… 小橋宮（変な名前のためか、子どもたちに人気があるためか、宮せんとよばれている。）

スタッフ

脚本・渡辺	効果音・杉浦・宮田	幕・	大道具・植田
監督・渡辺	小道具・天体望遠鏡	舞台設営・平岡	
助監督・平岡	・日比野・	コンセント・酒井	
せりふ補助・貝川	緩詰・阪田	スライド映写機・北川・	
背景画・呉本・合田	少女像・岡本	西	
谷口・小林	かざぐるま・田中	太鼓・桧垣・前田・国重	
衣装・大原・土橋・山下		宮田・平岡	
照明・岡本・和田			
宮脇			
阪本			

（幕開く）

一場 運動場

かたすみに「平和の少女像」がたっている。

かざぐるま少年（けんちゃん）が、ひとりであそんでいる。

そこへ、サッカー少年が登場。

おまえ、またひとりあそび。

けんちゃん、サッカーやるか。

（黙って、首を横に振る。かざぐるまをさしだす。）

（橋詰が受け取ろうとするが、りょうがさえぎってリフティングを始める。）

（リフティングをやめて、）ぼくは、将来Ｊリーガーになるねん。

来年もサンガ、日本選手権とるかなあ。

サンガもいいな！。

ぼくもめざすぞ！。当面は、次の大会で、勝つことや。

（二人、そやな！、と言いながら退場。）

（けんちゃん、ずうつとかざぐるまであそんでいる。）

（そこへ、バレーボールの子が登場。風車を渡そうとするが、目もくれな
いで、三人パスを始める。）

（トスをしながら）今度の試合は、勝ちたいなあ。

もっと、アタックやサーブ上手になりたいわ！。

一月のワールドカップ、見に行きたいな！。

みんなでいこか。

（いこー、と歓声を上げながら退場。）

（バスケグループが登場。）

阪屋ひょう

呉竹レモン

西子かな

阪屋ひょう

西子かな

呉竹レモン

平山シヨウ

日比谷ケン

植山 金

宮下 銀

植山 金

宮下 銀

植山 金

宮下 銀

植山 金

（レッグスルールのドリブルをしながら）ぼくも、田臥みたいにＮＢＡめざすぞ！。まずは、洛南バスケットボール部や。
（西子とパスしながら）バスケット、最高。中学生になったらバスケットに入っ
て、ぜったいレギュラーになったんねん。
わたしも。レモンちゃん、地元の学院中行くねんな。（レモンうなずく）ほ
なずうつといっしょにバスケットできるな。もっとつよくなるんや！。
あつ、もう４５分や。おくれたらまたぞうさんにおこられるで！。
ぞう先生で、おもしろいけど、いつおこりだすかわからへんしな！。
ほんま、うちら、気つかうわ！。
（３人ドリブルしながら退場）

空手少年二人組み手をしながら、大きな声を掛け合いながら登場。

（独り言のように）ぜったい勝つ、ぜったい勝つ。パーフェクトで勝つ。

（これも独り言のように空手と関係ないことを言っている。）ぜったい受か
る、中学受験、ぜったい受かる。

（つぶやきながら二人退場）

（野球少年、キャッチボールをしながら登場。）

日本シリーズ、すごかったなあ。やっぱりダイエーやな。

阪神星野監督引退やて。ぼく星野阪神に行くつもりやったのに。

おまえなんかむりむりむり。つりバカがにあつてで！。

今度の試合終わったら、一緒に釣りに行こうか。

行く行く。

今日の晩の、お泊まり会も行くけ。

行く行く。風呂屋まわりもやるんやろ。おもしろうやな。

幕

照明

少女像

背景校舎

和太鼓３台

宮下 銀

里の前湯に、大丸湯、赤の宮湯。どこいこうかなあ。（といいながら二人退場）

小鳥あい

（和服姿で3人の女子登場。お茶の道具を持って。）

小鳥あい

けんちゃん、いつも一人やなあ。茶道クラブはいらへんか。

深井北子

（まだ風車で遊んでいたかざぐるましようねん、首をよこにふる。）

西子かな

茶道、たのしいよ。

小鳥あい

今日のお菓子はなんやろうなあ。

西子かな

あつそや。今日は計画委員会があつたんや。平川先生待ったはるわ。

小鳥あい

日比谷君、ヒラパー、あんたらも計画委員やる。いっしょに行こうー。

小鳥あい

（平山シヨウと日比谷ケン、空手のかけ声をかけながら登場して、小鳥あい

小鳥あい

といっしょに退場。）

山上リカ

かわった人やなあ。

小鳥あい

（上手から登場して、忙しそうに、和服の二人にむかって。）かなちゃんら、

小鳥あい

きもだめしのよういしなあかんしー。はよいこ。ミヤセン（小橋先生）がよ

小鳥あい

んだはるでー。

西子かな

あつ、わすれてたー。（走りながら3人退場。）

西子かな

（陸上部のメンバーが走りながら登場。舞台を2周する。）

貝部よう

（かけ足しながら）大文字、絶対でるぞー。

酒木げんき

世界陸上、男女ともマラソン団体金メダルだったもん。ぼくらもがんばるぞー。

酒木げんき

！。

阪戸かず

末続にはびつくりしたなー。200、いきなり銅だもんなー。

阪戸かず

ようは、水泳はいいのか。

貝部よう

スイミングも、大文字もやる。おれはやる。北島は、水泳だけや。ぼくは、

貝部よう

両方ともやるデー。

酒木げんき

北島も、平100、金と世界新、両方とやったで。

阪戸かず

まずは、支部宝ヶ池駅伝で勝たなあかんし。

貝部よう

よーし、がんばるぞー。

酒木げんき

もう、杉浦コーチまったはるでー。

阪戸かず

ファイとー。（陸上部、走り去る。）

阪戸かず

（塾へ行く子たちが参考書をかかえて登場。）

大音さくら

もうじき共通一次やな。がんばらなくっちゃ。

合川みい

共通一次で、大学入試のことやる。私らはまず、中学受験やで。私は英語も

大音さくら

しゃべれるようになって、留学するねん。それが夢。

谷田なな

私は京大やねん。付属やねん。それが夢。

合川みい

私とこも、兄弟、仲ようし、て、いつもゆわれて夢に見るぐらい。

谷田なな

ななちゃん、ややこしいことゆわんといてーな。

合川みい

私はこれからテニス。一泊やでー。勉強もいけどテニスが一番。

谷田なな

いいなー。ほんな、今日のきもだめし行かへんの。

合川みい

いかへんいかへん、ださいもん。みいちゃん、テニスいっしょに来てもいい

谷田なな

て、お母さんゆったはったけど、いかへんか。

谷田なな

わたしいくしー、さいならー。（退場）

合川みい

（まよいながら）わたしもいくー。夢より今日のテニス。（言いながら退場。）

大音さくら

ああいう意志の弱い人は、受験競争を勝ち抜けない。わたしはやるわー。

大音さくら

さおちゃんも、受験？

和中さお

私は習字の教室なの。

大音さくら

ふーん。習字で習ってて、なんか得なことあるの。

大音さくら

ふーん。習字で習ってて、なんか得なことあるの。

和中さお
大音さくら
和中さお

大音さくら

前川とも
国崎くに
桧山かき

私好きだから。習字で、きもちがすうっと、おちつくの。
どんな字を書くの。みせて。
（カバンから習字の作品を取り出してみせる。）じゃわたしいくし。（退場）
かざぐるま少年がさくらにかざぐるまをさしだす。
あんた、ひまそうでいいなあ。（そういつて、退場）

（たいこ少年登場）

発表会めざしてがんばるぞー。
阿国歌舞伎400年。ぼくもがんばるぞー。
来年6月のライブめざして、「三宅たいこ」やるぞー。
（たいこをたたく）

太鼓の演奏が終わり、静かになった舞台。
かざぐるま少年と、はしっこに「平和の少女像」。

平和の少女像
かざぐるま少年
平和の少女像
けんちゃん

きみ、君。名前は何というの。
ぼくは、田勝けん。
ああ、けんちゃんなのね。わたし、ふーちゃん。
（初めてふりかえって）あれ、だれがしゃべってるのかと思ったら、あんたか。ふーん。ふーちゃんていうの。ふーん。しゃべれるの。
けんちゃんみたいにな、心のすきとおっている人にだけおしゃべりできるのよ。ふーん。いつからそこにたっているの。
40年前からずうっとたっているの。この体育館ができたとき、いっしょに作ってもらったの。

ふーちゃん
けんちゃん
ふーちゃん

けんちゃん
ふーちゃん
けんちゃん
ふーちゃん
けんちゃん
ふーちゃん
けんちゃん
ふーちゃん
けんちゃん
ふーちゃん
けんちゃん
ふーちゃん
けんちゃん
ふーちゃん

ふーん。じゃ、40才なのか。
私はとしをとらないの。ずうっと5年生。
ふーん。どうしてそこにたっているの。
ねがいごとがあるの。
ふーん。どんなねがいごと。
戦争が起こらないこと。
ふーん、戦争が起こらないこと、ね。
戦争で、子どもたちが死ぬようなことがないよう、ねがっているの。
ふーん、子どもたちの平和を願っているのね。
みんな仲良くなること。
ふーん。じゃ、これあげる。（かざぐるまを一つ、像の手にもたす。）
ありがとう。

（暗転）

二場 夜の運動場

星の観望会。天体望遠鏡もでている。深井先生、小橋先生をまんなかに、みんなが並んでいる。

はい、みなさん静かに。これから科学センターの深井先生に星の話、特に今日は、火星の話をしてもらいます。だれだ、そこ、まだ天体望遠鏡を見てはだめです。日比谷か。あかんで。それに、それ反対や。のぞくところがちがうで。（みんなどつとわらう。）

では、深井先生よろしく。

小橋先生

2 場

照明

照明

天体望遠鏡1台
スライド映写機

深井先生

みなさん、こんばんわ。今日はこのあと、楽しいきもだめし会や、おふるやさんまわりもするとお聞きしていますので、私の話は簡単にしたいと思います。

今日は本当によい天気で、北斗七星や北極星もよくみえますね。南校舎の上にちょうど見えますよ。それに、火星がこの八月二十七日には、六万年ぶりに大接近したところです。今度の大接近は、二八四年後です。みなさんは、すごいときに出会ったわけですね。九月九日には、月と火星が接近しますから見てくださいね。では、順番に天体望遠鏡で観察していきましょう。

（みんなが天体望遠鏡に集まる。）

ひとしきり暗くなって、次の場面、きもだめし会が始まる。

じゃつぎは、きもだめし会に移ります。

グループごと順番に出発してください。北校舎を回りますから、順路をまちがわないように。

みんな、わあわあいいながら出発していく。（退場していく。）

三場 きもだめしの北校舎内 （中幕の前で）

（数グループが登場。おばけがそれをおどかす。）

（最後のグループが登場。どうも順路をまちがえたらしく、みんな不安げに、辺りを見回しながらあるいている。）

（おばけ役がでてこずに、平和の少女像がたっている。）

3場

中幕しめる

効果音

おばけ役

西・北川・

回る役・

杉山りょう

土山メロン

貝部よう

酒木げんき

阪屋ひょう

山上りか

貝部よう

どうも順路をまちがえたのじゃないかなあ。

（順路図を見ながら）もう出口にでてもいいはずなのになあ。

あれ、こんなところに平和の少女像があったかなあ。

それって、ひょっとして、おどかしじゃない。

少女像で、夜になると動き回るって、お父さんが行ってたぞ。

きゃー。

それは迷信だよ。それでも、ふしぎだなあー。こんなところに…

（と少女像に手をかけた瞬間、像が動き出す。）

（みんなびっくりしてたおれる。）

おどかしてごめん。わたし、ふーちゃんていうの。五年生。動き回って言うのはうそだけど。今日初めて、動いたの。みんなに、大切なことを知ってもらいたくて。

山上りか

ふーちゃん

杉山りょう

ふーちゃん

酒木げんき

阪屋ひょう

山上りか

ふーちゃん

（みんなふーちゃんについて。退場）

4場

四場 戦場

（爆撃音のあと中幕が開く）

たくさんの子どもたちが苦しんでいる

（みんな、びっくりして見つめる。）

ふーちゃん

これは爆弾が落ちたあとの様子なの。

橋詰けん

（よく見ると、くるしんでいるのは、みんなのクラスメートだった。）
くるしいよう。死にたくないよー。もっとサッカーしたかったよー。（と言
って、息たえていく。）

小鳥あい

どうして…、わたしが。もっとバレーボールしたかったのに。

植山 金

（バットをにぎりしめて横の銀ちゃんを気づかう）銀ちゃん、だいじょうぶ
だ、がんばれ。もう一回キャッチボールをしよう。

宮下 銀

（うんうんとうなずいて、いきたえる。）

阪戸かず

ようちゃん、さいなら。ぼくはもうあかん。あたまやられた。大文字たのむ
でー。

国崎くに

なんでえやねんー。

前川とも

もっともっと、たいこやりたかったー。

桧山かき

おかあちゃんー、あついあつい、たすけてー。死ぬのん、いややー。

呉竹レモン

西子、しっかり、いっしょに中学でバスケットすんえやろー。

西子かな

（うなずきながらバスケットボールをかかえたままいきたえる。）

日比谷ケン

ヒラパー、死んだらあかんでー。空手の試合まだ一回もかってへんやろ。

平山シヨウ

そやー、おれは死なへんでー。死んだらおかんにおこられるしー。（と言っ
ていきたえる。）

中幕あける

背景画・キノコ雲

照明

効果音・爆撃音

大音さくら

合川みい

なんやこれ。爆弾なんか落とすなっちゅうねん。まだうち、中学受験でも落
ちてへんのに。先に爆弾落とすなんてなんやねん。お兄ちゃん、たすけてー。
おかあちゃんー、うち、もっと生きたかった。もっと勉強したかった。留学
したかった。

和中さお

習字が燃えていく。うちも燃えていく。おかあさん。

谷田なな

おとうさん。こわい、こわい、まっくらや。おかーさん。おかーさん。

杉山りょう

あつ、けんちゃんや。

（けんちゃんが、必死にかざぐるまを渡そうとしている。）

（りょうがそれを受け取ると、うれしそうな顔をして、けんちゃんはいきた
える。）

（その瞬間、場面は元の運動場へもどる）

五場 元の夜の運動場

真ん中に平和の少女像がたっている

（みんなが、最後のグループを待っている。みんなの手には、か
ざぐるまが）

大音さくら

（上手の方を見ながら）ようちゃんら、おそいなあ。かざぐるま、もってる
かなあ。

貝部よう

（しばらくして、最後のグループがもどってくる。）
おそくなってごめん

5 場

背景画・校舎

照明

大音さくら

田勝けん

（そのうしろに、りょうがかざぐるまをかざしてつづく。）
（うれしそうに）。あっ、「かざぐるま、もってるー。」
（満面の笑みで、ほこらしげにかざぐるまをしょうめんにかざして）やっ
たー。わー（といいながら走り出す）

（みんなそのあとに続くように、かざぐるまをかざして走り出す。）

呉竹レモン

（舞台中央をみんなが走る中、ナレーション。）

きもだめしからもどったみんなは、心が一つになっていました。不思議な
ことに、同じ体験をしたようです。このきもだめしはだれがしかけたのでし
ょう。

ふーちゃんのねがいを、みんなが受け止めたようです。

平和と友のたいせつさを。平和と友のたいせつさを。

（みんなが真ん中に集まって、かざぐるまをかざすなか、幕が閉まる。）

幕

幕